

Peace!

NO.15 JUNE 2014

地域の患者さんに寄り添ったプライマリ・ケアを
学べる実習申込はこちらから！



わたり病院



検索



医学生のみなさんこんにちは！福島県福島市の医療生協わたり病院です。

突然ですが、わたり病院のちょっといい話。

とある研修医が病棟で受け持っていた患者さん。その後退院し、ある日外来に予約あり。外来の担当は上級医の先生でしたが、診察室には上級医と、なんと病棟で担当医だった研修医の先生も！特別Dutyで入ってるわけでもなかったのに、自分の仕事やりくりして駆けつけてくれたのです。「予約入ってるの見て来ました！元気かなと思って…」

こんなお医者さんて…素敵やん☆ かかりたいって思うやん☆なんかスタッフも嬉しいやん☆

超音波専門医制度研修施設に指定されました

～超音波検査を通じて総合医を育てたい～

副院長・研修委員長 渡部 朋幸

本年4月より当院は日本超音波医学会の専門医研修施設に認定されました。県内では福島医大附属病院、福島労災病院に次いで3施設目です。超音波専門医とは、超音波を用いた医療全般についての知識と技術を持ち、超音波を用いた診療に指導的な立場で従事する医師のことです。本稿では、超音波検査の魅力とそれによる医師養成について述べたいと思います。

超音波検査は、無侵襲でリアルタイム性に優れ、検査の場所を選ばないという他の画像検査にないメリットを有しています。

また、組織の形態を写す画像検査としての側面に加え、体の機能についての情報が得られる生理機能検査としての側面を有します。ドブラ法による血流速度測定やエラストグラフィによる組織の硬さの測定も可能です。

形と機能の情報を合わせ考え、なぜ、そうなっているのか、ということを考えることがエコーの醍醐味です。1例を挙げます。川幅が狭い場所では流れが速くなるのと同様、動脈に狭窄があると、血流速度は増加します。画像として血管の狭窄を捉えられなくても、血流速度の増加や著しい低下があれば、血管の狭窄や閉塞を推理することができるのです。

加えて、超音波検査はその総合性に魅力があります。救急、消化器、循環器、産婦人科の他、甲状腺、乳腺、整形外科領域、呼吸器科領域などにも超音波は利用され、さらには脳神経領域や眼科でも用いられています。超音波専門医は、消化器、循環器など分野ごとに認定されますが、実は認定試験は半分以上が総合分野からの出題です。専門外の領域であっても、疾患の治療法や他の検査では所見がどうかということも知識として要求されます。



昨今、医学教育はプライマリケアや総合性重視の方向に進んでいます。2017年度から始まる新専門医制度でも総合診療科という新たな診療科が設けられました。当院の医師養成の目標のひとつは、総合診療を行える医師を育成することです。超音波診療の技術や知識を持つことで一層の総合性を加えることができると考えます。病歴、診察、自ら撮像した画像から想像を働かせ、そこで起きている病態を推理する。それは、専門にかかわらず必要な思考の流れであり、当院で学ぶ研修医の将来に必ず役に立つと確信いたします。



※超音波専門医制度研修施設申請資格

「研修施設指定に関する内規」第41により、指定を受けようとする施設は、以下に掲げる条件をすべて満たすこと

1. 本会が委嘱した超音波指導医が1人以上勤務しているか、またはそれと同等以上の指導体制があること

なお、非常勤施設の申請は原則として、指導医1人に対し施設迄とします。

2. 「研修要領」による研修が可能であること

3. 十分な超音波診断装置、超音波検査件数、ペーパー数、入院・外来患者数、剖検数・生検数、及び図書設備を備えていること

(日赤(NISSEKI)・大原(OHARA)・わたり(WATARI)の頭文字を取り、「NOW」)

福島市臨床研修“NOW”プロジェクト 第1回ケーススタディが開催されました！

5月24日(土)に福島市臨床研修“NOW”プロジェクト第1回ケーススタディ「皆で挑戦、総合臨床医ドクターG in 福島！」がコラッセふくしまで開催され、3病院の初期研修医と学生さんが多数参加し盛大に盛り上がりました。

外部のケーススタディ講師には、NHKドクターGでもお馴染みの名古屋大学医学部附属病院 総合診療科 鈴木富雄先生をお招きし、各病院の2年目の研修医がTVさながらの緊張感のもと最終診断までたどり着きました。

第2部は、武蔵野赤十字病院感染管理室長 本郷偉元先生による『救急外来での感染症診療』と題した講演会が行われ、救急外来で頻度の高い感染症に関して、診断と治療に関する重要なポイントをご講演いただきました。



活動詳細は…

NOWプロジェクト



検索

被災地視察のご案内(浪江町)



昨年4月4月から浪江町は除染や復興のために警戒区域から3分割され、避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域となりました。

わたり病院が加盟する福島県民医連では、原発事故による被害の実情を学ぶために日中入ることができる、居住制限区域での視察を企画しています。ぜひご参加ください。

◇日程 2014年7月25日(金)

◇行程 11:00 わたり病院集合・出発

18:00 わたり病院帰着

※昼食は途中のコンビニ等で購入し車内でとります。

◇参加費 無料

◇参加定員 10名(申し込み順となります)

◇お申し込み先

福島県民主医療機関連合会事務局

担当 安齋・山本 Tel. 024-521-5205

メールアドレス anz02@fmc.u-coop.or.jp

医療生協わたり病院 医学生通信

Peace!
NO.15 JUNE 2014

ご意見・ご感想を
お寄せください
↓↓↓↓↓↓

わたり病院 医学生担当 igakusei@watari-hp.jp

〒960-8141 福島県福島市渡利字中江町34

医療生協わたり病院 Tel.024-521-2056